

「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」を知っていますか。言われてうれしい言葉を「ふわふわ言葉」、逆に言われるととても悲しくなる言葉を「ちくちく言葉」と言います。ふだん学校で子どもたちの会話を聞いているとこれらのたくさんのお話を耳に入ってきます。

『ありがとう かっこいい フアイト やったね 最高 かわいい すてき よかったね』

など、ほっとして心が温かくなる言葉が聞こえてきたかと思うと、思わず耳を疑うような言葉を発する子どももいます。そして、それらかなりのものがほんの軽い気持ちか無意識のうちに使われているように見られるのです。

子どもたちがふわふわ言葉を意識して言えるようにと、私の勤務する学校でも友達にふわふわ言葉を使ったらその言葉をカードに書いて壁に張り出す取り組みをしてみました。するとたった一週間ですが、クラス全体でおびたしい数のふわふわ言葉が使われ、壁一面がふわふわ言葉でうまりました。同時にちくちく言葉も減ってきましたことが感じられました。

時を同じくして職員室で次のような教員同士の会話がありました。

「子どもたちは先生の言ったとおりに言うんだねえ。」

「ほう、どんな？」

「たとえばね、子どもに『もう、おわった？』と聞くと『おわった』と答えるし、『おはよう』と言うと『おはよう』と言うんですよ。」

「ほう、ほう。」

「だから、子どもには『もう、おわりましたか？』とか、『おはようございませう』と声をかけなければならぬんだよねえ。」

「そうなんですかあ。」

目や耳から入ってくる言語に関する環境のことを言語環境と言います。私たちが日常使っている言葉や言い回しは、模倣と繰り返しによって築かれてきたもので言語環境に大きく左右されます。子どもたちにとっては学校・家庭・社会におけるさまざまな言葉や文字が言語環境といえるでしょう。そこで私たち大人も襟を正し、あらゆる場面で思いやりのある言葉を使っていけるようにしていきたいものです。

連載・青少年健全育成シリーズ 第282回

「子どもたちに豊かな言語環境を」



青少年の声かけあいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています（10,500部発行）ので、多くの方の目に触れます！

問合せ：行政管理課 秘書広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。
掲載状況は、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄